

コーディネーターの養成カリキュラム素案について

○地域における消費者教育を全般的に企画・調整し、推進する役割。行政機関内で効果的実践を支援する専門職を想定。

○育成の主体：国（独立行政法人国民生活センターを想定）

○カリキュラム素案：知識編（24時間）と実践編（24時間）から構成される。12日間の宿泊研修を想定。

<知識編>

	講義名	主な履修内容	配当 時数
	ガイダンス		
1 日 目	1 消費者教育概論	・消費者教育推進法・消費者教育体系イメージマップ ・連携・協働の意義とコーディネーター・サポーターの役割	2
	2 「消費者市民社会」の理解	・消費者市民社会の定義 ・求められる背景（海外事情含む） ・消費者市民教育の実践例	2
2 日 目	3 消費者問題の基礎知識（1）	・消費者問題発生の背景と主な歴史 ・発達段階別の消費者問題の傾向と対処法（1）	2
	4 消費者問題の基礎知識（2）	・発達段階別の消費者問題の傾向と対処法（2） ・関連法概要の理解	2
3 日 目	5 消費者行政と消費者政策の概要	・国および地方公共団体の消費者行政の構造と役割 ・消費者政策における消費者教育の位置付け ・消費者行政と関連する行政組織の把握	2
	6 教育行政の概要と消費者教育の取組	・国および地方公共団体の教育行政の構造と役割 ・文部科学省による消費者教育推進事業 ・学習指導要領における消費者教育の位置付け	2
4 日 目	7 消費者教育の具体事例 1 <学校>	・学校段階別の具体的実践例（実践者による報告含む） ・地域連携の具体事例 ・コーディネーター・サポーターの役割	4
5 日 目	8 消費者教育の具体事例 2 <地域>	・地域による消費者教育の意義と役割 ・活動の具体的実践例（実践者による報告含む） ・コーディネーター・サポーターの役割	4
6 日 目	9 消費者教育の具体事例 3 <高齢者・障害者の見守り>	・高齢者の見守りの意義と役割 ・見守り者への消費者教育の具体事例 ・コーディネーター・サポーターの役割	4
			24 時間

<実践編>

		講義名	主な履修内容	配当 時数
講師養成				
1 日 目	1	消費者教育指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・講師としての知識（出前講座の組み立て方） ・発達段階別に好まれる指導法の紹介 	2
	2	効果的な教材選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育ポータルサイトの活用方法 ・発達段階別に好まれる教材の紹介 	2
2 日 目	3	人前での話し方と効果的な伝え方	<ul style="list-style-type: none"> ・人前で話すときの心構えと留意点 ・話し方練習 	2
3 日 目	4	<ワークショップ1> 出前講座を企画しよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを学校、地域、見守りの3つに分け、出前講座のカリキュラム案を作成し、発表・講評する。 	6
消費者教育の企画・立案				
4 日 目	5	消費者教育の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・講座やイベント等の企画者としての知識 ・関係者との連携の工夫 ・サポーターの活用 	2
	6	人を引き付ける魅力的なチラシの作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力をアップする魅力的なチラシの作り方 ・チラシ作成実践 	2
5 日 目	7	<ワークショップ2> 連携・協働による消費者教育の企画をしよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを学校、地域、見守りの3つに分け、講座、イベント等企画案を作成し、発表・講評する。 	6
6 日 目				
	8	意見交換—地域で消費者教育を広げていくために—	<ul style="list-style-type: none"> ・講座全体を振り返り、意見交換を行う。 	2
				24 時間